

良い循環を
つくる。

エコツウ

エコムつうしん 68号 -9月号-

68



ご当地グルメ

- ここが知りたい！エコムちゃん
「鶏ちゃん合衆国」
- ロバのあしあと：通称「モネの池」

「エコツウ」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。





ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く

ご当地グルメ

そのまちにしかない美味しいものが食べたい。
旅先に行ったら、誰もがそう思うよね。

ご当地グルメは、そんな欲望に応えようと、
各地で展開されている町おこしのカタチなんだ。

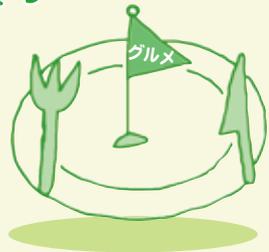
郷土料理と似てなくはないのだけど、
もう少し気軽に、簡単に調理できて、
庶民の味を追求しているところに楽しさがある。

例えば、地域内で提供している食堂数が圧倒的に多い・・・
宇都宮の餃子や広島のお好み焼き、讃岐のうどん、
長崎ちゃんぽん、喜多方のラーメンなど、
おなじみの料理たちが脚光を浴び、ブランドとなっている。

ご当地とグルメはとても相性がいいんだ。

こうした盛り上がりを受けて、
各地域が競うようにご当地グルメを掘り起こしている。
「おらが町で親しまれている味を知ってほしい」と、
郷土愛全開の闘いが繰り返されているよ。

Local gourmet



農山漁村の郷土料理百選 / 御当地人気料理特選

農林水産省主催により、「農山漁村の郷土料理百選」99品目が選定された(2007年)。「百選」を謳いながら選出数を99に留めたのは、個々人に思いの郷土料理を選出してもらい、最後の1品として加えてもらいたいとの考えからだという。また、農山漁村との関係は薄いものの、地域住民にご当地自慢の料理として広く愛されている料理23品目も、別枠で「御当地人気料理特選」として選定された。





食肉が手に入りやすかった
当時、鶏ちゃんは貴重な料理
であり、盆や正月、親族の
集まりや来客があるときなど、
特別な時に振る舞われたんだよ。

鶏ちゃん合衆国

岐阜の郷土料理の一つに鶏ちゃんがあるよ。しょうゆや味噌をベースにしたタレに漬け込んだ鶏肉をキャベツなどと焼いて食べるシンプルな料理なのだけど、その由来に昔の暮らしを想像できて、なるほどと思えるよ。

下呂や郡上の田舎では、卵を得るために各家庭でニワトリを飼育していたが、1~2年もすると、卵を生まなくなる「産卵」になる。これを食べたのが鶏ちゃんの始まりだというよ。

建国5周年祭を取材。
長尾伴文大統領に
お会いできたよ。



鶏ちゃん合衆国は、そんな鶏ちゃん文化を楽しもうという人たちの集まり。味付けや食感が地域や店によってさまざまというその多様性が、合衆国命名の由来となっているんだよ。



地元民は、みんな鶏ちゃんへの愛着心が強いんです。地元を離れた人も、帰ったら、みんなであっという間に食べています。あくまで郷土料理「鶏ちゃん」であることを意識しています。よその人にも、本場の下呂、郡上へ来てもらいたい食べてもらいたいですね。東京や大阪で「鶏ちゃんフェア」も計画していくつもりです。

酒井副大統領、長尾大統領、都竹飛驒市長。その他お笑いコンビ、マスコミ各社も来て、すごい盛り上がりだった。40種類の鶏ちゃんが振舞われていたよ。



国立「羽一鶏(はーぼーど)大学」は、地域の食文化をみんなに伝えるための取り組み。子ども、親子向け鶏ちゃん講座や食べ比べ交流会を開催しているよ。

ロバの あしあと はじまりは・・・ 絵画のような美しさに出会えます

数年前までは名もなき池だったのが、全国的に有名になってしまった通称「モネの池」。近くで花苗の生産販売をする「フラワーパーク板取」を経営する小林佐富朗さんが除草を行い、スイレンやコウホネを植えたのがその始まり。池で泳ぐコイは、地元住民が自宅で飼えなくなって持ち込んだものであり、観光目的で作られたわけではないと言います。偶然が積み重なってクロード・モネの後期の睡蓮連作群と似た池が出来上がったのです。



お団子をいただきながら、自治会長の長屋さんにもお話を伺いました。(左は餅松屋の松田さん)



小林佐富朗さん

情報拡散はアツという間。

絵画のように見えるのは、池の底の白い砂といつも水温 14 度に保たれている湧水のおかげ・・・カメラマンなど、以前から注目している人はいました。ブログや SNS などでの評判となった後、新聞や情報番組で取り上げられると、情報が一気に拡散。観光客が押し寄せて、すごい事になったと思いました。



旧板取村は人口 1,200 人ほどの小さなエリア。GWには 1 日 3000 人以上の人が押し寄せた。

information

フラワーパーク板取

岐阜県関市板取 440-1

0581-57-9021

営業：9:00～17:00(年末年始休み)



「ロバのパン」は、移動販売のパン屋さん。昔懐かしい移動販売車で、岐阜市を中心に半径約 1 時間以内の地域を巡回しています(他の地域への訪問もあり)。本コーナー「ロバのあしあと」は、販売エリアの魅力スポットをエコツウ独自の視点で紹介しています。

エコツウ 68

平成 29 年 8 月発行

発行：エコムカワムラ株式会社

岐阜県安八郡輪之内町里 85 番地の 3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作：いしいデザイン mail@ishii-design.info



「エコツウ」Facebook

<https://www.facebook.com/ecotsuu/>

